

PCMSの特徴（他ソフトとの比較）

NPO法人みやぎき教育支援協議会

No.	項目	PCMS	エクセル	桐
1	アプリ不要（アプリ予算、バージョンアップ、操作研修、新規作成が不要）	○	×	×
2	システムに統一性、安定性、汎用性がある（誰でも使えて引継が容易）	○	×	×
3	学科やコースに応じて多様なデータベースをつくることができる	○	×	×
4	ユーザー管理ができる（IDとパスワード、権限設定によるログイン）	○	△	△
5	CSV取り込み、保存ができる（エクセルや桐と互換性がある）	○	○	○
6	バックアップ、リストア機能がある（自動バックアップを選択できる）	○	×	×
7	ネットワークで共有できる（データベースフォルダを共有）	○	○	○
8	同一表でクラスごとに異なる納入額を管理できる（学科ごとに納入額設定）	○	△	△
9	月ごとの納入額を一括、選択、任意金額など簡単に入力できる	○	△	△
10	教材ごとに必須、選択を設定することで、入力ミスを防げる	○	×	×
11	学年、クラスごとに画面の切り替えができる（別シート、ファイルは不要）	○	×	×
12	全行、選択での一括置換（ボタン機能）ができる	○	×	△
13	金額登録でテンキー入力が不要（コピー、貼り付けが不要）	○	×	△
14	多様な絞り込み（氏名、番号、教科、金額など）が簡単にできる	○	×	△
15	同じ教材で異なる単価を管理できる（単価による絞り込みも可能）	○	△	○
16	項目ごとに端数処理（切り捨て、四捨五入、切り上げ）を登録できる	○	×	△
17	支払後の残金処理を自動計算できる（関数、計算式の入力不要）	○	△	△
18	絞り込み選択件数（合計金額）が、自動表示される	○	×	△
19	各種帳票（督促状、精算書、決算書）がボタン一つで印刷できる	○	×	△
20	帳票の編集（タイトル、文言修正など）ができる	△	○	○
21	計算処理、印刷プレビューの速度が速い	○	×	△
22	生徒ごとの金融機関登録が簡単にできる（選択、一括置換登録など）	○	×	×
23	返金の一括振込データを金融機関仕様で作成できる（専用ソフト不要）	○	×	×
24	振込手数料を自動で入力できる（3万円未満、以上等での区分け）	○	△	△
25	副教材以外（修学旅行費等）の残金も合算して返金できる	○	○	○
26	年度途中での転学生や退学生にすぐ対応できる（精算書印刷など）	○	△	△
27	年度更新で自動的に学年繰り上げと繰越額が移行できる	○	×	×
28	好きなようにカスタマイズできる	×	△	△
29	マニュアルがある（研修会がある）	○	×	×
30	現場サポート（データ移行、操作説明、メンテナンスなど）がある	○	×	×

PCMSは、C#、.NET、Framework、SQLiteなどで構成されています。

比較表△表示は、エクセルはマクロ、桐は一括処理を一部想定しています。